

令和2年度かながわ学びづくり推進地域研究委託事業（三浦市）

郷土三浦に誇りをもち、これからの社会をたくましく生き抜く人材の育成

三浦市教育委員会

三崎小学校
テーマ
未来に生きる子
～小規模校であることを
「強み」ととらえ共に学
び、進んで考え表現する
子の育成～

岬陽小学校
テーマ
自分らしく
いきいきと
表現する子



三崎中学校
テーマ
「主体的・対話的で深い
学び」の実現を目指す
授業改善
～主体的に学び合う生徒
の姿を目指して～

南下浦中学校
テーマ
学力の三要素を
意識した生徒とともに
つくる授業

初声中学校
テーマ
主体的に学ぶ子
～主体的な学びへ
つながる授業づくりを
目指して～

名向小学校
テーマ
生き生きと学ぶ子
～深い学びを通じた
思考力の育成～

南下浦小学校
テーマ
いきいきと学び合う子
の姿をめざして
～自ら考え表現しよう
とする児童の育成～

上宮田小学校
テーマ
自ら課題を見つけ、
追求する子
～地域の素材を生か
した学習を通して～

旭小学校
テーマ
自分のよさを大切にし、
相手のよさを尊重できる
子
「深い学びを引き出す
授業の工夫を通して」

剣崎小学校
テーマ
子どもの豊かさを育む学び
を通して
～小規模校ならではの言語
活動を通して、自ら考え
続ける子を育てる～

初声小学校
テーマ
主体的に学ぶ子
～主体的な学びへ
つながる授業づくりを
目指して～

チーム三浦の授業実践

◆社会(4年) 三浦市立剣崎小学校
ごみのゆくえの学習場面です。ごみステーションのごみがど
のように回収されているのか、予想を話し合いました。

- T: どうやって、回収しているの?
C: 車で集めている。
C: トラックの後ろにごみを粉々にするところがあって、
集めている。
C: **粉々にして、ためている。**
T: 他の人はどう?
C: **つぶして中に入れてる。**
C: 前側にためていく。
C: ためるところとつぶすところがあって、つぶして
ためていく。

ごみをたくさん積
む方法を考えた。

ポイント

子どもたちは、対話を通して、①粉々にする、②
つぶすという2つの予想を共有しました。これが、
ごみの収集車を見学する際の見通しとなり、子ども
は、主体的に学習を進めていきました。

◆理科(4年) 三浦市立上宮田小学校
ものの温度と体積の学習場面です。空気を密閉したペットボ
トルを冷水と温水に交互に入れて、形の変化を観察しました。

- T: どうなると思う?(ペットボトルを冷たい水に入れる)
C: へ?やばい!
C: つぶれている。
C: **水圧?**
C: **空気が減った?**
T: 今度は、お湯に入れるよ。
C: 首が割れた。
C: へこんでいたところがもとに戻った。
C: 膨らんだ。
C: しぼんで膨らんだ。

ペットボトルが変
形した要因に目を
向けた。

ポイント

既習として、植物等を色、形、大きさで観察し
てきた子どもたち。実験の観察でそれらが活用さ
れていました。また、「空気が減った?」と、結
果と要因の関係づけにつながる気づきも見られま
した。

◆道徳(6年) 三浦市立旭小学校
相互理解・寛容を扱った学習場面です。うそをついた友達
について、どうしたらよかったのかを話し合いました。

- C: 無視しないために素直な心と勇気をもてばよかった。
C: 3人で話し合ったら仲直りできたと思う。
C: 許すこと?
C: 近い。そういう時って、やられて許せないところあ
るじゃん。やられてから分かるじゃん。そこで気づ
かないから、取り返しがつかなくなる。
C: だから、広い心をもって対応すればいい。
C: 反省していれば、許せる?
C: **すぐに仲良くなれない!**
C: **それこそ、広い心だろ!**

一人一人の受け止め方
の違いがはっきりした。

ポイント

「許せる?」との問いかけに、ある子が自分事と
して「すぐに仲良くなれない。」と、語りました。
すると、「それこそ、広い心だろ!」との発言。対
話を通して、子どもたちはゆさぶられていきました。